



お問い合わせ

政策推進課

 ☎ 4-2511 内線 231
 ☆ 4-251102

「森の寺子屋」2020が開幕しました!

7月20日にリモレビを会場とし、第1回「森の寺子屋」2020が開催されました。

会場にはチャレンジを進めていくプレイヤーの皆さんや一緒に応援する見学者が集まりました。

「森の寺子屋」2020では、参加方法の選択肢を広げ、オンライン参加も可能となりました。オンライン



で参加いただいた皆さんと、会場に直接お越しいただいた皆さんと一緒に「森の寺子屋」を進めていきます。今月号から森の寺子屋各回の様子を紹介していきます。

プレイヤー・見学者 自己紹介

まず始めに集まった参加者の自己紹介を行いました。

第1回目では、オンライン

参加を含めた8人のプレイヤーと、10人以上の見学者が参加しました。

プレイヤーは、移住して間もない人や小学生など様々な立場、年齢層の人が集まり、一緒に応援する見学者は、銀行や研究機関、NPO法人など幅広い分野の人が参加しました。

チャレンジ意見交換

会場に参加いただいた皆さんの紹介が終わり、本日のメインワークである意見交換を行いました。

「森の寺子屋」2020ではプレイヤーのチャレンジを、「好きなことを追及する」と、「地域が抱える課題を解決する」というふたつのテーマに分けて進め

ていきます。

そこで、集まったプレイヤーと見学者でグループに分かれ、お互いのチャレンジへの想いを話し合いました。自身のチャレンジがどちらのテーマに寄っているのか、現時点での位置づけを決めるとともに、「森の寺子屋」全6回を通して何を成し遂げたいか、それぞれの理想のゴールを話し合いながら一緒に考えました。

これから全6回の活動を通して、各プレイヤーはチャレンジの実現に向けて進んでいきます。

「しもかわまちづくりnote」にて
森の寺子屋情報を随時更新中



「森の寺子屋」2020を通して実現したいチャレンジは?

下川町ならではのタイニーハウス(※)の企画・ラフデザインやタイニーハウスを知ってもらおう活動をしていきたい。

(※)タイニーハウス:数畳ほどの小さな家。シンプルで無駄のない暮らしを通し、豊かな生活を営むことを目指す。

大石陽介さん

2020年4月より羅臼町から移住。移住後は下川をフィールドとした宿の開業を目指すかわら、ローカルガイドとして、下川ならではの魅力を活かした活動を行う。



「森の寺子屋」2020を通して実現したいチャレンジは?

アロマセラピーや漢方を使った健康ケアに取り組みとともに、新しいつながりを増やして、今までやってこなかったことにチャレンジしていきたい。

塚本あずささん

2019年より東京から移住。東京ではアロマセラピストとして活動する。移住後は活動拠点をつくり、リラクゼーションサロンや漢方を活用した予防医療なども挑戦する。



「森の寺子屋」2020を通して実現したいチャレンジは?

空き家問題にも焦点を当てて、地域材を活用したDIYを空き家にも活用していきたい。

山口駿人さん

2018年より札幌市から移住。移住後は下川町を拠点とし、地域の木材を活用したDIY事業を行う。森の寺子屋第1期、2期にも参加する。



「森の寺子屋」2020を通して実現したいチャレンジは?

森の寺子屋第1期2期では鹿肉を活用した食品加工を行ってきた。今回は食品ではない利活用を模索する。具体的には下川らしいエゾシカの皮のなめしに挑戦する。

山田泰生さん

2018年より名古屋から移住。移住後はエゾシカの利活用事業を模索する。森の寺子屋第1期、2期にも参加する。